

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会

第4回 情報共有会合 議事概要

1. 日時：平成26年12月18日（木） 15時30分～17時20分
2. 場所：札幌第1合同庁舎10F第1共用会議室
3. 出席者 18名
北海道道運輸局、札幌市（2名）、北海道測量設計業協会、建設コンサルタンツ協会北海道支部、北海道GIS技術研究会、北海道GIS・GPS研究会(2名)、NPO法人Digital北海道研究会(2名)、北海道高度情報化農業研究会(2名)、HRS(株)(2名)、国土地理院北海道地方測量部（4名）
4. 議事
 - 1) 事務局からの報告
 - I) 「第6回産学官懇談会の概要報告」
 - II) 「地理院地図リニューアル情報」
 - 2) 地理院地図の活用事例等の報告
「地理院地図の利活用事例～北海道沿岸における漂着物の状況～」
……………HRS(株)時永氏・鈴木氏
質疑応答
 - 3) グループ討議
5. 配布資料
 - 1) 事務局
 - (1) 会議次第
 - (2) 出席者名簿
 - (3) 第3回情報共有会合 議事概要
 - (4) 第6回産学官懇談会開催の報告(概要)
 - (5) 「地理院地図」リニューアルの概要
 - (6) 第12回北海道測量技術講演会の案内パンフ
 - 2) 取り組み報告資料
・『地理院地図の利活用事例報告』
 - 3) 参加機関
・農業GIS&リモートセンシングセミナー 開催案内 ……Digital北海道研究会
6. 議事概要
事務局より11月19日(水)札幌市内の北農健保会館大会議室で開催した「第6回 地理空

間情報に関する北海道地区産学官懇談会」の概要について説明を行った。続いて、12月11日に国土地理院内向けに情報提供された「地理院地図」のリニューアルに関して話題提供を行った。なお、地理院地図のリニューアルは平成27年1月上旬に一般公開の予定。

次に、地理院地図の活用事例の報告として、HRS株式会社の時永氏と鈴木氏によるFOSS(Free and Open Source Software)を利用した「情報共有WEBシステム(北海道沿岸の漂着物状況調査)」について、FOSS及びOpenDataの概念を解説したのちに、情報共有WEBシステムの構成や現地調査に活用したタブレット端末の紹介があり、北海道沿岸への漂着物の状況についてWEBシステムのデモンストレーションを交えて報告があった。また、時期や年度によって沿岸の形状や漂着物が変わるため、同一箇所を継続的に調査するためナビゲーターとしてタブレット等のGPS機能を活用した事例や沿岸への漂着物の現状を把握するため、北海道沿岸全域の空中写真を航空機やモーターパラグライダーを活用して撮影された総画像数が2万5千枚になることが報告された。

質疑応答で、参加者より沿岸の漂着物をゴミと見るか宝物と見るかで対応が異なるが、漂着物を収集し展示・研究している機関もあり情報共有すると利活用されると思われる。

システムの目的外使用になるが沿岸の写真画像は、観光ガイド等に活用できる、などの意見や感想があった。

・グループ討論の概要

A班は、CIM(Construction Information Modeling/Management)に関して、CIMも広義では地理空間情報に含まれるので建造物のモデリング化に関わる必要がある。また、役所等では2～3年で人事異動があるため技術が定着しにくいなどの課題がある、などを纏め発表を行った。

B班は、学校への普及・啓発と人材育成に関して討論し、GISが普及しない要因として、教育不足と教育の継続性が無いこと。小学生に地図への興味を持ってもらうためには、PCやタブレットで簡単に操作できることが必要である。小学校へ測量体験講座を実施しているが併せて地図の読み方講座を開催することを検討する必要がある、などを纏め発表を行った。

・事務局から

日下次長より、来年1月29日札幌第1合同庁舎で開催する第12回北海道測量技術講演会の概要説明と参加申込の依頼を行った。

今回の会合は、参加機関のご都合を把握させていただき、来年1月下旬か2月下旬に開催したい。1月末に開催する場合の議題案として、リニューアルされる「地理院地図」の操作説明をメインとしたいと考えている、として閉会しました。